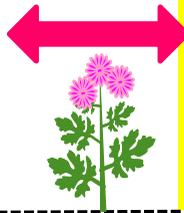


# 夏秋期の小ギクを安定出荷 できるようになりました！

## 技術の概要

- ・適切な品種を用いた電照栽培による夏秋期の露地小ギクの開花調節技術
- ・盆や彼岸の高需要期に安定出荷が可能

通常の夏秋小ギク生産  
= 気候変動によって  
出荷時期が不安定



- ・温度によって開花期が変動し需要期に出荷できないことがある。
- ・近年の異常気象で変動がさらに大きくなる傾向。

需要期  
(盆・秋彼岸)

適切な品種の電照栽培  
= 需要期安定出荷



1. 電照栽培に適した品種を選抜
2. 選抜品種を用いて電照条件下で栽培
3. 各品種の到花日数データ\*を参考に、開花させたい日から逆算して電照終了\*消灯から開花までの日数

表. 電照栽培に適した品種の  
各作型での到花日数 (福島県データ)

品種	各作型の到花日数	
	8月	9月
精ちぐさ (赤)	46	42
精こまき (黄)	54	43
すばる (黄)	55	42
はるか (黄)	57	46
精しらいと (白)	60	45
精しずえ (白)	57	44

\*到花日数は地域によって多少前後します

## 期待される効果

- ・ 需要期出荷本数および単価の増加による所得向上
- ・ 8月出荷10a + 9月出荷10aの合計所得が16%向上

(福島県H28実績)

【お問い合わせ先】 地域再生花き生産コンソーシアム代表機関  
(国研) 農研機構 野菜花き研究部門 企画連携室  
TEL : 029-838-6575 Email: vf-koho@ml.affrc.go.jp

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。